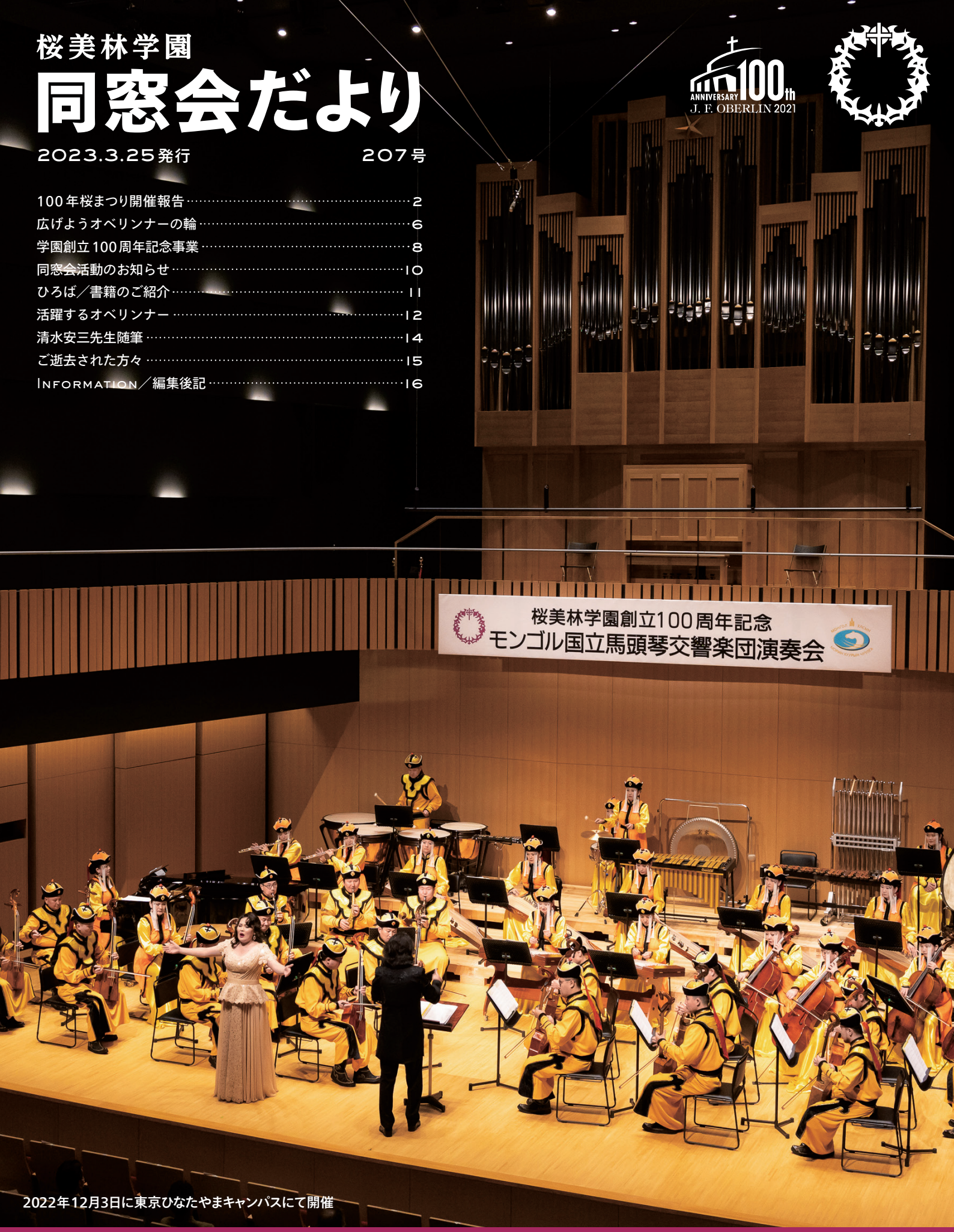
桜美林学園

同窓会だより

2023.3.25発行　　207号

100年桜まつり開催報告……2
広げようオベリンナーの輪……6
学園創立100周年記念事業……8
同窓会活動のお知らせ……10
ひろば／書籍のご紹介……11
活躍するオベリンナー……12
清水安三先生随筆……14
ご逝去された方々……15
INFORMATION／編集後記……16



2022年12月3日に東京ひなたやまキャンパスにて開催

2023 総会＆リ･ユニオン開催のご案内

日程／6月10日(土)　10:30～ 礼拝･総会　12:30～ リ･ユニオン(懇親会)　会場／町田キャンパス 荊冠堂チャペル
ご出席の方は同封はがき、電話(☎042-797-1632)、または右記QRコードよりお申し込みください。

桜美林学園
100年桜まつり
リ・ユニオン&ホームカミングデー

100年桜まつり開催報告
～リ・ユニオン&ホームカミングデー～

2022年11月12日(土)に町田キャンパスにて学園、校友会、同窓会の三者合同開催いたしました

学園創立100周年を祝い、「桜まつり」が復活!

桜美林学園の創立間もない頃から「父上母君来校の日」として開催されていた「桜まつり」は毎年八重桜が満開になる季節に多くのオベリンナーが世代を超えて集い、共に感謝する場でした。2022年5月には、コロナ禍により延期されていた学園創立100周年記念式典を満を持して開催。そしてこの度、大学・大学院、中学・高校、幼稚園の卒業生たちが再び集い、また地域の方々も含め、100周年を共に祝う「全てのオベリンナー来校の日」として「100年桜まつり」を開催いたしました。

同窓会主催企画① 朗読劇「清水安三の生涯 ～希望を失わず～」

桜美林学園の原点と安三先生の歩みを辿る物語を朗読劇でお届けしました

子女の教育に生涯を注いだ安三先生の信仰と愛の物語

本作は、安三先生が信仰に目覚め、戦争に翻弄されながらも信念を貫き、崇貞学園から桜美林学園へと子女の教育に生涯を注いだ道程を描いた作品です。
学園の原点である安三先生の愛に心打たれるとともに、「希望(のぞみ)を失わず」という一説の重みを実感し、観客席では100周年の節目に感謝の気持ちを新たに、多くの方が涙を流されていました。終演後には、迫真の演技を届けてくださった水澤心吾さんらに盛大な拍手が送られました。

朗読劇のウェブ配信はこちらから➡

cast 桜美林学園創立までを演じられた皆さんをご紹介

清水郁子先生役
島﨑亜紀さん(左)
劇団テアトロ（海）、KUKU81を経てフリーに。2007年にクリスチャンとなり、キリスト教伝道劇団で「塩狩峠」「氷点」に出演。

清水安三先生役
水澤心吾さん(中央)
テレビ・映画・舞台を中心に活躍。杉原千畝の生涯を描く一人芝居「決断 命のビザ」ほか、信仰者の生涯を描いた朗読劇が国内外で好評を博す。

清水美穂先生役
山下香織さん(右)
桜美林大学総合文化学群演劇専修卒業。プロダクションMISSIONに 所 属、2022年11月にはピュアーマリー『殺しのリハーサル』に出演。

同窓会主催企画②〈桜の園日本一計画〉植樹見学ツアー

皆さまのご賛同により植樹した桜を見学しながら、懐かしいキャンパスを散策しました

2021年2月にけやきの広場に植樹された第1号の桜から

故佐藤東洋士元理事長の遺言による桜「神代の曙」

安三先生の銅像とも久しぶりの再会です

荊冠堂下の銘板には桜植樹寄付者のお名前が

穏やかな秋の日の学園を見下ろす復活の丘にて

この日を祝うように十月桜が花を咲かせていました

安三先生の終の住処である「石ころ庵」にも程近い、復活の丘南斜面に植えられた十月桜と共に

参加者の皆さまと重ねた学園での新たな桜の思い出

100年後の学園も桜で満たされることを願いスタートした、同窓会による学園創立100周年記念事業〈桜の園日本一計画〉。多くの皆さまにご賛同いただき、植樹が完了した7種64本の桜を見学しながら、懐かしいキャンパスを散策しました。

遠くは北海道支部からもご参加いただき、発展の中でも変わらずのどかな学園の姿に、またこの地で過ごした日々の思い出話に花が咲きました。

引き続き〈桜の園日本一計画〉へのご支援をよろしくお願いいたします。

「賀寿礼拝」開催のご案内

日程／4月22日(土) 10:30より　会場／町田キャンパス 荊冠堂チャペル

本年度、還暦・古希・喜寿・傘寿をお迎えになる同窓生の皆さまを対象に「賀寿礼拝」を予定しております。詳細は同窓会ウェブサイトをご覧ください。また、対象の皆さまには別途ご案内はがきをお送りいたします。ぜひお越しくださいますようお待ち申し上げております。

100年桜まつりに参加して

3年前より大阪へ単身赴任しておりますが、この日に合わせ帰京、愛する母校へ帰ってきました。けやきの広場に到着、12時開始のチャペルアワーから参加させていただき、体育館でのODCのダンスやチアリーディング部のパフォーマンスを観賞、最後は桜カフェで旧友との再会と再交流を楽しみました。卒業して何年経っても帰ってこられる場所があるのは幸せなことです。これは一生の誇りであり、私にとって桜美林大学は宝です。

大神健二／94大国卒

1959年3月、中学2年の時初めて桜美林学園に来ました。前年に狩野川台風で家を流され、寮のある学校の編入試験を受けるためです。よく晴れた南風の強い日でした。校庭に立つと淵野辺の空は黄色く、試験開始時には砂が舞い降りて来ました。これから此処で暮らすのかと思うと少し悲しかったのを覚えています。それから中学、高校、短大を卒業できたのは郁子先生、安三先生のおかげです。卒業後、安三先生の勧めで学園に勤めることとなり、途中何年かの欠落はありますが定年まで無事に勤められたのは感謝です。崇貞学園創立より百年、校舎は立派に、教職員や学生は増え、授業内容も魅力的になりました。これまで学園を支えてこられた方々に感謝すると共に、これから導いていく方々に幸あることをお祈りいたします。

大久保和彦／64短英卒

「桜まつり」の響きの懐かしさに惹かれ訪れた学園はすっかり様変わりし、昔住んでいた復活寮は止戈徳館となり更賜体育館の土手にはユッカがなく、寂寥感を胸に太平館に。
朗読劇を聴き、安三先生の情熱と夢と祈りの産物が桜美林なのだと改めて思いました。横を見ると、寝ちゃうかもと危惧していた級友が何回もハンカチで目を拭っていました。けやきの広場を一周し再び通った体育館横に小さなユッカを1株見つけ、ホッとして帰途につきました。

髙垣みぎわ／73高校卒

100年桜まつりの開催を知った時は、50年以上前の楽しかった高校生活の様子が、タイムスリップしたように目の前に鮮やかに蘇りました。
現在は個人情報の管理が厳しいこともあり、同期生の連絡先を知ることは不可能に近いのが現実。しかしこの機会を生かして何とか…と思い、太平館2階の同窓会事務局を訪れました。ダメもとでお尋ねしたら、「69年度卒」という手掛かりだけであったにもかかわらず、幹事の方々がそれは熱心に探してくださり、また強運にも恵まれて、なんとその場で69年同期生の幹事の方と巡り合うことができたのでした！
「奇跡だ！」と興奮して舞い上がってしまいました。その後次々と他の同期生とも電話で連絡を取っていただき、まるで昨日別れたばかりのように弾む会話ができたことは、本当に素晴らしい想い出になりました。幹事の方々のご尽力に心より感謝しています…。が、もしかしたら、五十数年ぶりに訪れた母校の学生たちの明るく爽やかで、純朴な姿にも表れているように、「当然」と思われての応対だったのかもしれません。それでも、親切丁寧で一々感動させられました。故清水学園長の慈悲、行動力、国籍・民族・宗教を超えた広大な理想は、未来を創生する若者たちを現在に至るまで育て続ける力となっているのだと感激しました。不可能、NOではなく、「イエス、イエスと叫ぼうよ！」。

中島　弘／69高校卒

卒業して50年、久しぶりに訪問したキャンパスは昔からある更賜体育館、スクールバス乗り場、グラウンド以外は大きく変貌し隔世の感があります。賀寿礼拝（傘寿・喜寿・古希・還暦祝い礼拝）で会った友人たちも歯の抜けたように減って来ました。学園を見渡すと、昔崇貞寮や太平寮があった跡には立派な校舎が建ちました。思えば55年前の桜寮のクリスマス会に女子の寮長と2人で復活の丘の石ころ庵まで安三さんの送迎をしたのは、寮長の役得と言えるところでしょうか？　私にとっての桜美林は高校時代の寮生活につきます。当時の桜寮は同一敷地の中に中高生の男女の寮が共存しており、食堂も全員一緒の共同生活の場でした。矢部バス停前の「杉山商店」は寮生御用達の雑貨屋で、夜食や歯ブラシもそこで購入し、クリスマスには安三さんを迎えて寮の食堂で中高大の全寮生が集い濃密な時間を過ごす桜寮ヒストリーがそこにありました。寮の復活を祈念しています。

小川尚眞／74大経卒

安三先生（中央）と桜寮の寮友たち。右から小川尚眞さん、難波秀紀さん、加藤吉和さん、一ノ瀬修さん。旧荊冠堂前にて1968年1月頃。

支部より100年桜まつりに寄せて

支部会

北海道支部 2022.11.12

「北海道支部 IN 町田キャンパスツアー」を終えて

北海道よりそれぞれの思いを胸に抱き、学園に降り立った私たち。キャンパスの様変わりに驚きながらも、学生たちに笑顔で迎えられ、100年桜まつりにおいて「北海道支部 IN 町田キャンパスツアー」がスタートしました。

6月よりオンライン幹事会を重ね、役割分担を決め、参加者に喜んでいただけるであろう企画アイデアを出し合いました。その中で、各支部へのごあいさつと常日頃よりお世話になっている同窓会本部への感謝を込め、懇親会で「北海道グルメコーナー」をプロデュースすることに。当日は、北海道の銘菓・珍味をテーブルコーディネート。それを肴にコミュニケーションをより盛り上げていただき、すべて完食！　皆さまに喜んでいただけました。

スイーツ系と珍味系の北海道グルメをご用意。堪能していただきました！

そして、朗読劇や桜植樹ツアー、オベリンナーのパフォーマンスなどをそれぞれが楽しみ、学生時代を振り返り、忘れられない感動の1日となりました。今回の学園イベント参加ツアーをきっかけに、今後の北海道支部のさらなる前進を考えることができました。100年桜まつりに関わった全ての関係者の皆さまに感謝申し上げます。

北海道支部長 矢吹光弘／83大英卒

北海道支部

矢吹光弘北海道支部長（中央）、
小助川よしえ北海道副支部長（後列右）と
北海道支部の皆さん

群馬支部

結城裕子幹事と結城 茂群馬支部長

相模原支部

霧生 保相模原支部長（後列左）と
相模原支部の皆さん

千葉県支部

黒川容子千葉県副支部長と
伊東茂治千葉県支部長

町田支部

大沢則夫町田支部長（中央）、
片桐幸宏町田副支部長（左から２人目）と
町田支部の皆さん

山梨支部

長島達也山梨支部長

滋賀支部

大澤規夫滋賀副支部長

広島支部

今川敦子広島支部長

広げようオベリンナーの輪

全国に広がる支部会、同窓会、クラブ活動OB会などの活動をお知らせします

詳細は
ウェブサイトへ

支部会

横浜支部　2022.9.3

第13回 横浜リ･ユニオン開催報告

横浜リ・ユニオンが「ロイヤルホールヨコハマ」にて行われました。コロナ禍で開催が延期されていましたが、実に3年ぶりにリアル開催されました。現役の学生3名に加え、畑山学長、山本同窓会長、小礒校友会長にもご参加いただきました。

今回のリ・ユニオンでは新しい試みがありました。その一つ目が学園の紹介映像で、現在の桜美林の姿が見られるこの試みは、他支部でも行うことで意識の共有を図ることができると感じました。二つ目は世代別会費徴収を行ったこと。もっと多くの若い方々に参加してほしいと20～30歳代の会費を大幅に下げた試みが、参加者拡大につながればさらに飛躍する可能性が広がります。そして三つ目は、ワークショップを開催したこと。変化の激しい時代にあって、桜美林の今後の可能性について参加者全員で語り合うことができました。

今回、アクリル板などを使って感染対策を行いながらではありましたが、新たな一歩を横浜から踏み出すことができ、まさに「対話に勝る会話無し」を実感いたしました。

多くの方々のご協力をいただいてリアル開催することができました。最後に、改めて関係各位の皆さま方に感謝申し上げ、横浜支部リ・ユニオン開催報告とさせていただきます。　竹本典秀／88大経卒

横浜支部 in 100年桜まつり

田中洋子横浜支部長（中央）と横浜支部の皆さん

支部会

宮城支部　2022.10.15

第4回 宮城リ･ユニオン開催報告

実に3年ぶりの宮城リ・ユニオンは秋晴れの下、前回と同様に仙台近郊広瀬川沿いの芋煮会場で、当支部会員に同窓会本部および他県からお越しいただいた先輩方を合わせ、総勢15名での開催となりました。

今回もまずは火おこしに始まり、その後は各自持ち寄った"おらほ（わたしの住むところ）"の逸品（いぶりがっこ・石巻産笹かまなど）をつまみに、近況や当時の思い出（今だから語れるちょっとヤンチャな出来事も含む）を語り合いました。そしてメは恒例の芋煮宮城・山形味比べ対決。今回も甲乙つけがたい出来に一同大満足で一旦お開き。その後は駅前で二次会と続きました。皆さまのご協力により、このご時世で開催できましたことを改めて感謝申し上げます。　大森裕昭／85大経卒

宮城支部 in 100年桜まつり

松井雅彦幹事（左）と佐久間光一宮城支部長

支部会

大阪支部　2022.10.22

大阪リ･ユニオン開催報告

大阪リ・ユニオンを大阪梅田「日本料理 河久」で開催いたしました。当支部会員のほか、東京より畑山学長、同窓会本部

山本会長、藤本・井原副会長、また他支部からもお越しいただき、懐かしいお話やこれからの話を皆で語り合い、大いに盛り上がりました。年齢層、立場もそれぞれですが、桜美林への熱い思いは同じだと感じました。

この度の支部リ・ユニオン開催におきましては、多くの皆さまにご協力いただき、盛会に終わることができました。心より感謝いたします。

大阪支部長　髙野美幸／94大国卒

大阪支部 in 100年桜まつり

佐藤紀子元大阪支部長（左）と髙野美幸大阪支部長（右）

OB会

高校陸上部　2022.11.5

OB･OG会報告

2022年11月5日（土）に横浜中華街「菜香新館」にて、高校陸上部OB･OG会を開催しました。

コロナ禍の影響で前回から4年も経過してしまいましたが、顧問の浜野綾子先生もお元気で当日は19名の方が参加してくださいました。初顔合わせの方もすぐに打ち解け、昔話で盛り上がり時間はあっという間に過ぎ、再来年の開催を楽しみにお開きとなりました。

今回よりOB･OG会のグループラインを作りました。当日参加できなかった方々ともつながりを持つことができ、次回はより多くの方々に参加していただけるのではないかと思っています。

幹事代表　岡田正一／79高校・83大商卒

同窓会

1983年度卒大学英文科D組クラス会　2022.11.12

100年桜まつりにて、しばらくぶりの仲間と再会。復活の丘教会まで歩いたり、キャンパス内を散策したりと楽しみました。学生当時の気分を思い起こさせてくれた掲示板があったあたりは、其中館他の建て替えにより、残念ながら思い出の中だけの存在になってしまいました。夕刻からコロナ禍で延び延びになっていたクラス会を開催。大越 孝先生を囲み楽しいひとときとなりました。初めて出会ったのは1980年、今や皆還暦を過ぎましたが、こうして集まれることは幸せですね。先生にはご退任記念にネーム入りハンガーを「永く服（福）をかける」の想いを込めて贈りました。

年齢のことも考え、今後は開催サイクルを短めになどと話し合いつつ、名残惜しくも再会を期してお開きとなりました。

高野　稔／83大英卒

学園創立100周年記念事業

100周年記念事業のプロジェクトの進捗をご報告いたします

〈在校生・在学生感想文コンクール〉結果発表

多くの生徒・学生の皆さまにご応募いただき感謝申し上げます。最優秀賞と各部門の受賞者をご紹介いたします。感想文は同窓会ウェブサイトにてご覧いただけます。

●最優秀賞●

奥田ひかりさん（BM学群4年）

「『石ころの生涯』を読んで」

最優秀賞をいただき、ありがとうございます。とても嬉しいです。この読書感想文を書くことによって、安三先生の人生を知ると同時に、私の小さい頃からのことを改めて思い返し、家族や友達の支えがあったからこそ、ここまで来られたのだということに気が付きました。気付く機会が与えられたことに感謝したいと思います。

この春に卒業し、学生生活とは違う環境に入ることに不安を感じているのですが、頑張っていきたいと思います。

●優秀賞●

川尻　拓海さん（中学3年）　「『桜美林物語』を読んで」
柳　　知諭さん（高校1年）　「『桜美林物語』を読んで」
八木　優音さん（高校1年）　「『桜美林物語』を読んで」
和田　紋奈さん（高校2年）　「『桜美林物語』を読んで」
大島　翔之さん（BM学群3年）「清水安三の生涯から学ぶこと」

●佳作●

杉浦　巧真さん（中学3年）　「『桜美林物語』を読んで」
市川虎太郎さん（高校1年）　「『桜美林物語』を読んで」
加進　希美さん（高校2年）　「『石ころの生涯』を読んで」
松村　萌里さん（健福学群1年）「奉仕活動と清水安三の強さ」
風間なぎささん（芸文学群1年）「『希望を失わず』を読んで」
原　　美詩さん（芸文学群1年）「『希望を失わず』を読んで」
松岡　良樹さん（LA学群2年）　「『希望を失わず』感想文」
鄭　　帥　さん（BM学群4年）　「『石ころの生涯』を読んで」
原田隼之介さん（健福学群4年）「あなたに託す」
呉　　春蘭さん（大学院）　　「『石ころの生涯』と私」

『石ころの生涯』を読んで　　奥田ひかり

「学而事人」私はこの言葉に惹かれ桜美林大学への入学を決意した。AO入試の面接で、学園精神への共感を熱く語ったことを思い出す。「学問のために学問するものでもなければ、自己の教養のために学問するものでもない。人に事えんために学問するのである。」この文章に改めて心を打たれた。清水先生は貪欲に学び、書物を沢山読まれたことを知った。徳富蘇峰氏の『支那漫遊記』など、先生の人生に書物は大きな影響を及ぼしたのだと感じた。

「カマワン・ボーイ」。そう叫んだ異人の先生ウィリアム・メレル・ヴォーリズ先生（以下ボリッさん）は清水先生の生涯において、もっとも偉大な影響を与えた人物だそうだ。この方に出会わなければイエス・キリストにも辿り着かなかったと。

私は観光の道を志しているのだが、桜美林大学で渡邉教授に出会わなければ他の道を辿っていたかもしれないとしみじみ思う。進むかとどまるか迷った際には、教授の教えである「迷ったらGO」が常に脳裏をよぎる。優柔不断な性格を変えてくれた素敵な言葉だ。「誰と出逢うか」で人生が変わる。人との巡り合わせは人生に大きく影響を及ぼすのだ。言うなれば一つの巡り合わせが人の人生を創っているのだと、出逢いに感謝しなければならないと感じた。偉大なる空想家であり、平和を好み、安息日を重んじ、しろうとでありながら事業に手を出す人であったボリッさんの生き様が清水先生に大きく影響しているのだと強く感じた。

全文は同窓会ウェブサイトに掲載しています。
⬅こちらから

〈桜の園日本一計画〉にご寄付いただきありがとうございます

おかげさまで現在181件の個人、団体を含めた同窓生の皆さまにご賛同いただき、64本の桜植樹を実施することできました。厚く御礼申し上げます。今後も学園と相談しながら新規植樹の検討、植樹済み桜の管理･メンテナンスをはじめ、プロジェクトを継続してまいりますので、引き続き皆さまのご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。　同窓会会長 山本美浩

多くの皆さまにご賛同をいただき感謝申し上げます。2023年1月末までに新たにご寄付をいただいた方々とこれまでにご寄付をいただいた方のメッセージを掲載いたします。桜植樹の進捗状況は同窓会ウェブサイトでご報告いたします。

OBIRIN CLASS of '82／81高校卒
……87,865円
小泉　開／15大総卒 ……10,000円
矢吹光弘／83大英卒 ……10,000円
齋藤敏行／08大院卒 ……10,000円
北内正樹／97大国卒 ……10,000円
庄司菜奈／14高校卒 ……10,000円
庄司利之／81高校卒 ……10,000円
中原茂美／72大経卒 ……10,000円

MESSAGE

鈴木正子／82大中卒　何と素敵な計画でしょう。たくさんの桜が咲き誇る園が待ち遠しいですね。

榎本悦次／77高校卒　先日、久しぶりに、桜に包まれるような、桜美林教会の前を歩く機会がありました。未来につながる試みに感謝いたします。

井上悦子／69高校卒、吉村愛子／03大BM卒
〈桜の園日本一計画〉とっても楽しみです。私は高校、娘は高校と大学、桜美林学園でそれぞれの時代を過ごしてまいりました。孫の代に三世代で美しい桜を見に、また桜美林学園を訪れたいと思っています。

大学フォークソング研究部1976年度短大･大学入学
Go your own way♪フォー研　1980年頃に卒業した「大学フォークソング研究部」の同窓生一同です。懐かしい桜の園の話題になり、皆さんから寄付を募り植樹することにいたしました。これからも桜美林学園の輝かしい活躍を期待しております。

鈴木久代／67短英卒　桜の園日本一計画おめでとうございます。喜んで協力させていただきます。安三先生の笑顔が思い浮かびます。

川島　聡／07大院卒　同窓会だよりでこのプロジェクトを知りました。100周年に相応しく、素晴らしいプロジェクトだと思い、私もぜひ参加させていただきたいと思います。

小野和子／76短英卒　学園創立100周年、大変おめでとうございます。〝ビリギャル〟だった私を優しく親切に導いてくださった諸先生方、先輩方にとても感謝しております。オベリンナーの一人としてプライドを持ち人生を送ってまいります。

横田幸男／54高校卒　〈花咲かじいさん、桜の園に桜の花を咲かせよう〉私が在学していた時、八重桜が咲く頃、みどりの日に桜美林学園は旧木造校舎のあった所で桜祭りを開いていた。今もその面影が浮かぶ。桜美林学園発祥の地である。さらに、今回桜を増やす植樹の計画があることを知り応援いたします。

❀〈桜の園日本一計画〉寄付金　募集要項❀

- 基金目標額 1,000 万円。桜植樹および維持協力金として支出予定です。
- 一口 5,000 円（口数は無制限です。複数人で一口でも大歓迎です）

※桜美林学園同窓会は任意団体につき寄付金は税額控除等の対象にはなりません。
※二口以上ご寄付いただいた方（団体）は銘板にお名前を記載いたします。

- 趣旨にご賛同いただいた方は、右記口座へお振込みの上、QRコードから参加申込フォームへアクセスし、必要事項のご入力をお願いいたします。

【振込先】
ゆうちょ銀行　〇〇八（ゼロゼロハチ）支店
普通口座：9010259
口座名義：桜美林学園同窓会
（オビリンガクエンドウソウカイ）

【参加申込フォーム】
必要事項の入力は
こちらから ➡

〈記念誌プロジェクト〉Web版配信スタート

Web版を2022年11月12日より同窓会ウェブサイトにてご覧いただけるようになりました。今後、全国の支部にて支部会リ･ユニオンが開催された際には、ご参加の皆さまに本誌をお渡しできるようになりました。また、クラス会、クラブOB･OG会でも同様にお配りいたします。各団体代表者の方は、同窓会事務局（☎042-797-1632）までご連絡ください。

Web版は
⬅こちらから

〈石ころ庵改修･復活の丘聖地化プロジェクト〉

安三先生の住まいであった石ころ庵。そして桜美林のシンボルである復活の丘へ多くの方にお越しいただけるよう、聖地化を計画しております。さまざまな課題があり学園との協議が進められない状況ではありますが、同窓生皆さまのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

〈中国･北京 陳経綸中学訪問ツアー〉

100年前に安三先生が創立された崇貞学園（現陳経綸中学）を訪問するツアーです。同窓生の皆さまから多くの反響をいただいており、感染症の状況が好転しましたら実施する予定です。決まり次第、同窓会ウェブサイトにてご報告いたします。

同窓会活動のお知らせ

詳細は
ウェブサイトへ

NEWS 中高文化祭参加報告

2022年9月18･19日

中高文化祭に2日間参加し、桜美林グッズを販売しました。この売上げは、中高の教育施設充実のために活用されます。ここ数年コロナ感染症のために実際の文化祭が一般参加者向けに開催されず、同窓会も参加協力できませんでしたが、3年ぶりのリアル開催となり、久しぶりに中高生の明るい笑顔や、入学を目指している受験生とその家族の姿を見ることができました。今回は2日にわたり午前午後と時間・人数が制限されていましたが、とても多くの方々にグッズを購入していただき、大盛況のうちに終了しました。

NEWS 町田キャンパス大学祭参加報告

2022年10月29･30日

コロナ感染症が続く中、3年ぶりに行われた大学祭に同窓会役員が参加しました。リアルとウェブ配信のハイブリッド開催とはなりましたが、まだ各クラブの飲食のテントはなく一般の来客者も残念がっていました。

移転した同窓会室に卒業生の皆さんをお迎えして懐かしい学園生活のお話を伺いました。40年ぶりに来校された方や、50年前に入学した方がその頃の思い出を振り返り、学校も様変わりし、昔が懐かしいとのお話もありました。久しぶりに母校に来られてよかったというお声も聞かれました。

NEWS 高校第72期生成人祝福礼拝のご報告

2023年1月9日

第72期生の成人祝福礼拝を荊冠堂チャペルにて行いました。私たちの高校の卒業式と同様に天候に恵まれた中、およそ160名の卒業生と50名を超える保護者の方々、そして多くのお世話になった先生方にご出席いただきました。礼拝では桜美林中学校・高等学校校長、堂本陽子チャプレンより「虹のかけ橋となる」という題で奨励をいただきました。現在、新型コロナウイルスにより苦難を強いられている人が多くいます。また世界に目を向けると国同士や国内などで、多くの争いが起きています。目まぐるしく変化し先行きが見えない世の中ですが、「たとえ今雨が降っていても離れたところから見ると虹がかかっている」というお言葉を受けて、苦難の中にあっても神様は希望の光を与えてくださると信じて歩んでいきたいと思いました。そして自分の信念や考えを確立し、責任と自信をもって行動していくことが大切なのだということを心にとめ、成長していきたいと思いました。

私たちの卒業式は、生徒はアリーナで式を挙行することができましたが保護者の方々は感染症対策のため録画配信でした。そのため、この成人祝福礼拝で成長した姿を直接見てもらえたことは大変嬉しく思いました。そして、数年ぶりに桜カフェでの茶話会も開催でき、先生方からメッセージをいただいたり、さらに先生方や友人との団欒の時間を設けることができました。今回これまで通りに近い形で開催できたのはご協力いただいた先生方、同窓会の皆さまのおかげです。

また、ここまで育ててくれた保護者の方々にも感謝の気持ちを伝えたいと思います。桜美林中学校・高等学校がこれからも一層発展されることを第72期生一同願っております。　　実行委員長　小池未紗

皆さまからのお便り ひろば

柴田美也子／77短英卒　（千葉県）

子どもたちも皆、家庭を持ち、夫婦二人の生活になりました。不便ですが、緑ゆたかなぽつんと一軒家に引っ越しました。小さな家ですが、平家で静かで夫とゆっくりすごしています。星がとてもきれいです。桜美林の空によくにています。元気な内におとずれたいです。復活の丘はまだありますか？　安三先生とよく話したチャペルがなつかしいです。益々のご発展をお祈りします。

荒井淳子／52高校卒　（東京都）

大昔、清水安三先生が書かれた『希望（のぞみ）を失わず』のご本を近所に売り歩いた頃の会員です。昔のことなら面白いお話をたくさん知っています。どうぞ使えたら使ってください。今は桜美林精神で近所の公園等でボランティアをしています（86歳です）。桜美林は本当によい学園でした。安三先生・郁子先生ありがとうございました。

矢嶋美都子／72大中卒　（東京都）

創立100周年おめでとうございます。私は昨年（2021年）3月に、42年間勤務した亜細亜大学を停年退職し、名誉教授になりました。就職が決まった時、安三先生が「学而事人」の色紙とはげましの言葉をくださったのが、昨日のことのようです。安三先生のお言葉は社会で生きていく上での指針、支えとなりました。感謝です。

鄧　晶音／11大院卒　（神奈川県）

大学から大学院まで桜美林で過ごした6年間は、充実して学びの多い時間でした。学生時代に学んだ中国語を活かして、今は中国ドラマや映画などの翻訳に携わっています。指導してくださった中国文学科の先生方へ改めて感謝申し上げます。いつかまた思い出の校舎を訪れられればと思っています。

野崎英典／59高校卒　（福島県）

私は間もなく81歳になります。6年前に脳梗塞になり、右半身不自由になりましたが元気でいます。子どもは息子二人で長男の名前が務一（むいち）（この一事に務めよ）、二男は途也（みちなり）（われは道なり）です。二人とも、以前福島の信夫教会に故清水安三先生が来られた時につけていただきました。薬剤師・医師としてご奉仕させていただいております。感謝です。　（妻代筆）

田辺章彦／75高校卒　（神奈川県）

桜美林学園の皆さま、大変ご無沙汰いたしております。どうか皆さま、人に対する感謝の気持ち、人を思いやる気持ち、人の幸せを願う気持ちを忘れず持ち続けてください。そして、どんな苦労や困難にも、決してめげずに戦えば、人生は必ず成功します。そのことも忘れずに続けてください。どうか皆さま、これからもお元気でお幸せにお過ごしください。では、これで失礼いたします。

小山昌子／72短英卒　（長野県）

1971年に短大英文科へ入学した小山昌子（旧落合）です。写真を整理していたら卒業アルバムが出てきて懐かしかったです。女子寮も短大もなくなり寂しいですが、広報誌が届くたび楽しんでいます。いつも感謝です。

松山弥里／11大BM卒　（宮崎県）

たまに届く広報誌を拝見する度に学生時代の"多田ゼミ"で過ごした日々を思い出します。今はなき、多田先生とゼミメンバーで過ごした毎日は本当に私にとって宝物です。またみんなに会いたい!!

訃報　**佐藤登久子様／51高校卒**　（神奈川県）

母は昨年7月30日に逝去いたしました。中高6年にわたり清水安三先生はじめ諸先生方より授かった教えは母のバックボーンとなり生涯生き続けました。苦労の多かった人生故、貴校のお役に立てずに旅立ちましたが、その精神は私たち兄妹に受け継がれたものといたしまして、母に代わり心より感謝御礼申し上げます。御遺族様より

訃報　**薄井梅子様／56短家卒**　（東京都）

2021年12月13日に亡くなりました。中学、高校、短大家政科の一期生として桜美林学園で過ごし、安三先生との想い出話など、たくさん聞かせてくれました。　御遺族様より

ひろばへお声をお寄せください

同封のハガキ、同窓会ウェブサイトの掲載申し込みフォーム、右のQRコードから投稿が可能です。

BOOK　ヒックス先生翻訳による現代川柳

桜美林で教鞭をとってからかなりの年月が経ちました。日本での在住歴も40年を超え、日本について私が興味を持っていることを、より多くの人に知ってもらう時期が来たのではと考えていたところ、日本を代表する現代川柳作家の一人である杉山昌善氏の川柳を翻訳する素晴らしい機会に恵まれました。英訳とともに、日本語とローマ字で彼の言葉遊びの魔法を楽しんでいただければと思います。

『Senryu　The Modern Senryu Poems of Shouzen Sugiyama in English Translation　ー杉山昌善の現代川柳　英訳ー』 ジョーゼフ・ヒックス著　杉山昌善 川柳アメージング出版／1,430円（税込）
Amazon.com、Amazon.co.jpで購入可能。

本書が杉山氏の川柳を世界に発信し、日本語学習者にとっても新鮮な教材となること、また、川柳の普及に役立つことを願っています。この高速社会の中で、静かな場所でゆっくりと川柳を堪能できるひとときがありますように。　元中高校長 ジョーゼフ・ヒックス

活躍するオベリンナー

桜美林から始まった社会福祉の学びと実践の歩み

公益財団法人
愛恵福祉支援財団理事長　遠藤久江（えんどうひさえ）さん（57短英卒）

私は北海道の遠軽（えんがる）というところから、教会の牧師先生のお勧めで、1956年に桜美林短大英文科へ入学しました。本当は社会福祉を勉強したかったのですが、親に反対されましたので、まず、英語を勉強してからと考えたのです。

清水安三先生は「A Mustard Seed in Japan」をテキストに、ヴォーリス先生との出会いからキリスト者としての献身、北京朝陽門外での伝道活動や崇貞学園のお話、桜美林学園のこれまでとこれからを話されました。一連の桜美林物語は、礼拝時も、何かの会合の時も、何回も何回もお聞きしました。そしてその思いは、「詮方尽くれども希望（のぞみ）を失わず」という言葉に集約されます。郁子先生には教育原理など教職関係の科目を教えていただきました。

安三先生に励まされて

私は桜美林短大を卒業後、日本社会事業大学に編入し社会福祉を学び、以後社会福祉の担い手を育てる仕事をしてきました。私が大学生の時、東京深川で朝鮮半島出身者が生活していたバタヤ部落（廃品を集めている方々）でのボランティアをしていましたが、安三先生はその話を聞いて、「わしがそこに愛隣園をつくってやろう」とおっしゃってくださいました。実現はしませんでしたが、きっと北京の朝陽門外での日々を思い起こしておられたのだと思いました。

社会福祉は今日では国民生活にとってなくてはならない制度であり、その担い手も多くなりました。桜美林大学でも健康福祉学群があり、社会福祉の専門職養成課程がありますが、六十余年の歳月を経た現在の大学の様子に感慨深い思いです。桜美林大学が社会福祉士資格の関連科目を開設した時には3年ほど非常勤で教えていました。

私は40年ほど大学教員として、社会福祉の研究・教育に携わり、また、社会福祉の現場から社会福祉制度の進展を見守ってきました。大学をリタイア後は児童福祉事業の分野で百余年の歴史のある社会福祉法人の理事長として、社会福祉の実践の場で今日の社会福祉の課題に向き合ってきました。現在は公益財団法人愛恵支援財団理事長を担っています。

私のこれまでの歩みは、安三先生に教えられた「希望を失わず」に導かれてまいりました。この言葉に生涯の歩みを重ねてこられたことを心より感謝しています。

※安三先生は「せん方」「為ん方」なども使用

子どもを守る仕事
筑摩書房　968円（税込）
児童福祉を志す人へ
遠藤さんのライフヒストリーが鼎談を通して語られる。

「為ん方尽くれども希望を失わず」夢を大切に生きていきたい

ポッポの丘代表／東京農業大学客員教授
村石愛二（むらいしあいじ）さん（68中学・71高校卒）

私は千葉県のいすみ市内にある引退鉄道車両ミュージアム「ポッポの丘」代表の村石愛二と申します。「ポッポの丘」とは、地元を走るいすみ鉄道の204号を保存するために始め、12年近く過ぎた現在では電車、機関車、モノレール、地下鉄、ケーブルカー、ブルートレイン等28両の車両を保存展示するミュージアムになりました。

以前同窓会ウェブサイトの「活躍する同窓生」のコーナーにもご紹介いただき、はや5年半の月日が過ぎました。

この間には3年程前に首都圏を襲った台風15、19、21号の大きな被害がありました。私どもの御宿町内にある施設も大きな被害を受け、事業の再編が必要となりました。親の代から75年間続けてきた畜産業を廃業し、レトロぶーぶ館と消防自動車博物館を閉館することといたしました。

OBERLINER NEWS

NEWS

佐藤紀子さん旭日双光章を受章

2022年11月3日

日本モンゴル文化経済交流協会会長を務める佐藤紀子さん（62短家卒）が長年にわたる日モンゴル友好親善功労により、令和4年秋の叙勲で旭日双光章を受章しました。

佐藤紀子さんは、これまでモンゴル国立馬頭琴交響楽団を積極的に日本国内に紹介してきました。2022年は日蒙外交関係樹立50周年、モンゴル国立馬頭琴交響楽団結成30周年の節目にあたり、今回は桜美林学園創立100周年を記念して、交響楽団の演奏会が2022年12月3日（土）に東京ひなたやまキャンパスの桜美林芸術文化ホールにて行われました。

楽器紹介をされている佐藤さん

開演と同時に聴こえてきた音色は、優しく心に染み渡り、モンゴル国の地を踏んだことのない者でも、目を閉じると、限りなく広がる大草原が見え、そこに生きる人々の喜びや幸福感が伝わってくるようでした。モンゴル民謡をはじめ数々の曲が続き、心に残る演奏でした。休憩後の独奏や小規模アンサンブルなどは叙情的かつ劇的に響き渡りました。東日本大震災のチャリティーソング「花は咲く」の独唱は、会場を一つにした瞬間でした。

佐藤紀子さん発案の樹齢280年の吉野杉で作られた馬頭琴の演奏も素晴らしいものでした。最後の曲が終わり、アンコールの声や拍手が鳴りやまず、オペラ歌手のお二人が「ふるさと」を演奏に合わせて歌ってくださいました。その後も二度目のアンコールの拍手が鳴りやまず、それに応えて佐藤さんのご紹介で、桜美林スペシャルとして交響楽団による校歌の演奏がありました。来場者は演奏に合わせて校歌を歌い、とても心温まるひとときとなりました。

そして年が明けて令和2年、ポッポの丘の経営継続に頑張っているさなか新型コロナウイルス感染症が国内でも発生。外出自粛が求められ、4月3日から7月10日まで休業し本格的な営業再開は8月1日となりました。この間資金繰りに窮し、鉄道ファンのお客様や関係する保存会の多大なるご支援、ご協力をいただき何とか無事に今日に至ることができました。御宿の廃墟となった農場の再活用の方も台風被害に遭いましたが、移転して来られた乗馬クラブとオートキャンプ場が入居し、経営再建に貢献していただいています。

ポッポの丘の車両の数々と世界ポリオデーに行われたイベントの様子

桜美林で育まれた精神に支えられて

長々とこの5年半を振り返り思いますに、私が桜美林中学・高校に在学した当時（1966年4月～1972年3月）、清水安三先生は74～80歳でありながらとてもお元気で、生徒の間では「ほら安」と呼ばれとても親しまれており、「生徒、学生を集めるには甲子園出場」が念願であり口癖の頃でした。大学設立、甲子園出場、体育館竣工、幼稚園設置と先生の夢が次々と実現していく時代に在学できたことは、今思えばとても幸せなことでした。

青春時代に「夢を持つこと」「夢を語ること」「祈ること」の大切さを身をもって教えていただきました。また、危機的状況にある時には、先生がよく引用された言葉「為ん方尽くれども希望を失わず」に励まされ救われました。これからの人生も「人を利して己を利せず」の精神を忘れずに、そして「夢」を持ち続けていきたいと思います。

清水安三先生随筆

「基督教世界」

大正15年（1926年）4月29日

原文、難しい本漢字は略漢字に、旧仮名使いは新仮名使いに、志那は中国に改めました。難しい漢字には振り仮名を振り、随時（　）で言葉を補い、句読点を付けました。

小林　茂／51高校卒

ビリー・サンデーを聞く

（承前＝つづき）

オベリンにて　清水安三

その時音楽家ロードフィバーは「今から三十年前にミスターサンデーがピッツブルグ野球テイムの一員としてこの地にて試合をやったが、この内にその時試合を見たものがあるか」と問うた。すると約二百人ばかりの爺さんばあさんが手を上げ立ち上がった。当年の青年愛球家達がもう白髪を結び、禿頭を光らしているのである。先ずサンデー夫人がプルピット（説教壇　演壇）の上に登り一言も発せなかったが、会釈して拍手に答えた。私はこの夫人から一種の宗教的なあるひらめきを数瞬の裡に得た。ビリー・サンデーの如くに毛皮の外套にくるまっていなかったが正しい婦人だという感じがした。カーブ先生（同志社大学教授）の奥様のような人だった。果せる哉、後程ビリー・サンデーの演説を聞いて居ると、この婦人の宗教的であったことが、夫をして今日あらしめたのだということを聞いて成る程と思うに至った。彼の女はその夫よりも遥かに宗教的であったようだ。

八時が打つとクリーブランドの基督教信者で、この地方実業界に名望ある老紳士が政治家流の演説句調でビリー・サンデーを紹介した。「自分はこの生ける偉人、世界的名士と共に同一の壇上にあらわれ、クリーブランド公会堂設立以来の大群衆に向ってこの偉人を紹介することを我生涯の名誉とする」とやった。拍手喝采である。それから祈祷を老牧師がして開会した。その牧師の祈祷中サンデーは目もふたせずに動物園の猛虎のようにあちこち歩き廻って時々聴衆を睨んだり、手を握り廻したりしていた。その手の振り方はボールの投手がくるくる腕全体を廻しているあの光景である。ビリー・サンデーが祈祷中目をあけていたことの善悪は論じないでおく。何とならば私自らもサンデーの行動を見るために目をあけていたのであるから。

さあ祈祷がすむと何時の間にか下におりていたサンデーはモーションをつけて、韋駄天走りで壇上へ飛び上がった。その光景は見たことはないが獅子が馬を襲うときの有様である。彼の風采は中肉で痩せもせねば肥えても居らぬ。身体中のどこにも不用の肉がないというように引き締って居る。目は賀川（豊彦）君や鶴見祐輔君の眼玉のように光っている。頼山陽に謂わせたら眼光炯炯（光り輝く）人を射るものがあると形容せむ。兎に角顔目きっと引きしまって一見せば、くせ者だ。一物持てる人、尋常の品物でない。対座せば立ち所にギクリとする。私が米人から受けたものとしては曽てモット博士の印象に次いでの深い印象を受けた。

服装は日本で謂う所のセビロであって、ベストを着ていなかった。ネクタイは美しい紫色で服地は縞の深く入った紺色のものだった。大きい革製のノートブックを持って、夫の一頁を開きしゃべり出した。演題は"Crooks, Corkscrews, Bootleggers, and Whiskey Politicians-They Shall Not Pass."（詐欺師、コルク栓抜き、密造酒製造業者とウイスキー政治家――彼らは天国の門を通れない）というのである。最初から、ありぎりの声をはり上げて、講壇の上を右に左にとかけつり廻り乍ら喋るのである。そうして一つのことを語り終ると、中央のテーブルに帰り、そのノートブックを一枚めくるのである。多分大きい字で要点が書いてあるものと見える。その一項毎にアッピールをなし、聴衆をして拍手喝采せしむる。喝采せしむる時は必ず右の端か左の端に居って、ベースボールのボールの投方をやるのが常である。インスピレーション（霊感、ひらめき、示唆）に感じると、壇を蹴って飛び上る。その飛び上り方がどうも、キャッチャーのボールを受けた二塁手が足許にあるランナーにタッチする動作そっくりなので、私は人々に聞いて見ると果せる哉、二塁手であったそうな。声はシャガレ声で中国芝居の銅羅板のようにもあり、また割れ鍋の音に似ている。しかし、そこに聴衆の胸底に釘を打つ妙力があるのである。凡て、演説というものはそうで、海老名（弾正）

先生の音声は聴衆を酔わしめ、宮川（経輝）先生の音声は聴衆に肉迫するところがある。音楽家ロードフィバーは酔わしめるような声で語った。その後にもって来てシャガレ声ではあるが、人をして、怒鳴り叱られるように感ぜしむるのはサンデーの演説であった。

彼はよく米人のサイコロジー（心理状態）を呑み込んでいる点に於てスマートである。その演説はジョーク（冗談　しゃれ）と警句との連発なのである。笑わせる笑わせる笑わせる。人間というものは時々大いに腹を抱えて顎がはずれる程に笑って見たいものである。そうすると一年位寿命がのびたような気がするから、聴衆はもう笑わされて若い女などもじもじして居る。しかしこの笑いの次は彼の肉迫的警句である。そうして、人々は身振いして、己の罪を思うのである。例えば「米国、今や自由の国ではない。Prohibition（禁止）の国だ。この国を再び自由の国にするには飲酒を許すにあるが否、国民全体がWillingly（自発的）に断酒を断行するにある」と喝破する。一寸手に汗を握らせて禁酒法撤廃を叫ぶかと見せかけて置いてドシンと絶対禁酒論へつき放すところ実に面白い。

驚いたのは彼の暗記力の迚も大きいことである。米国に密娼（非合法に営業する売春婦、私娼）の数が何万何千何百人あること、酒の密醸者（非合法に酒造りをする者）がどれ丈けあること、細い数をずらりっと、おぼえて居ることである。統計が実に多い。禁酒法発布以前と以後との犯罪数等上げて、之を論ずる。統計を空んじているがそれは自分の議論は確実なる基礎の上に立っているぞということを知らせる爲めで、早口でぺらぺら喋る。一体彼は早口であって、島田相南翁も早口だったが、それどころではない。立板に水どころの速さでない。

もう一つ米人の心理を知っているという点において、彼は祖国愛と、国家的優越感に接近して巧に聴衆を動かす。演説半に世界各国の寸評と数言で以てやってのけた。日米のことを評してジャプ（日本人）は「仏像の前に跪づいてミリタリズム（軍国主義）の盛大ならんことを祈っている」といいやがった。中国のことは「阿片吸うなり、戦争して瀕死に迫ってる」とやりよった。英国でも露国でも、悉くボロクソに批判して、それから米国はどうだと行く。この各国批判のことを翌日のクリーブランド新聞悉くが攻撃し非難していた。「ビリー・サンデーは駄目だもっと世界的な頭を持たぬといけぬ」等と評せられた。

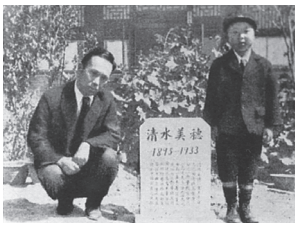
追悼　清水畏三先生 ご逝去

去る2022年9月26日、第5代理事長 清水畏三先生がご逝去されました。

畏三先生は清水安三先生の次男で、北京崇貞学園時代を経て、桜美林学園の創設から、学園の発展を安三先生のおそばで見てこられました。

1988年に安三先生が召天された後、第5代理事長となられ大学国際学部設立認可、大学院国際学研究科開設、高校大志館と大学太平館・栄光館の建設と学園の発展に尽くされました。

既にご葬儀は、コロナ禍ということもあり、ご家族のみで執り行われました。安らかに召されたとのことです。畏三先生の御冥福を心よりお祈りいたします。



左／美穂先生の碑の前で。安三先生と幼き日の畏三先生
右／畏三先生。学園創立50周年記念総会＆リ・ユニオンにて

ご逝去された方々　謹んでご冥福をお祈りいたします。

卒業生は敬称略　　（　）内は旧姓〔　〕内は逝去年月

猪狩勅之 …… 89高校卒
山下真理奈 …… 14大LA卒
山田洋司 …… 78大経卒〔22.04〕
野口美枝子(山口) …… 47中学卒〔21.09〕
白倉　博 …… 71大経卒〔22.07〕
桜井規雄 …… 81大中卒〔21.03〕
三木澤子(大久保) …… 75高校卒〔22.03〕
薄井梅子 …… 56短家卒〔21.12〕
髙橋洋子(島崎) …… 65高校卒〔22.09〕
白子まり絵 …… 96短英卒
椎橋二二郎 …… 78大商卒
櫻田　路 …… 93大中卒〔07.05〕
小出悦司 …… 60高校卒〔22.07〕
青木充子(石川) …… 65高校卒〔　22　〕
石川喜美子(岡本) …… 50中学卒〔20.10〕
佐藤登久子(井上) …… 51高校卒〔22.07〕
草薙和春 …… 99大経卒〔21.08〕
長田浩一 …… 80高校卒〔22.11〕
柳田ふゆ子(稲葉) …… 78大英卒〔22.10〕
仲丸ひとみ …… 73高校卒〔22.09〕

INFORMATION

これからの行事予定

2023

❇印は同窓会主催

賀寿礼拝❇	4月22日(土)
2023 総会&リ·ユニオン❇	6月10日(土)
兵庫リ·ユニオン❇	7月　8日(土)
横浜リ·ユニオン❇	9月　2日(土)
中学·高等学校文化祭	9月23日(土·祝)·24日(日)
大学祭(町田キャンパス)	10月28日(土)·29日(日)
大学祭(新宿キャンパス)	11月　4日(土)·　5日(日)

※上記の行事予定はコロナ禍により中止・延期になる可能性があります。
詳細はそれぞれのウェブサイトをご確認ください。

会員の皆さまの個人情報の取り扱いについて

同窓会では、皆さまの個人情報につきまして、学園のプライバシーポリシーに基づき厳重な管理をしており、会員名簿の発行は1996年に発行したものを最後にいっさい行っておりません。しかし、過去に発行した同窓会会員名簿や卒業生名簿が一部の名簿業者に渡り、その名簿を購入した企業より、営業目的のDMや電話があったとの情報が事務局まで寄せられています。名簿の保管には充分ご注意いただき、第三者への譲渡や販売はお控えくださいますようお願い申し上げます。またDMや電話から、その企業へ名簿を提供した業者が特定できた場合、お申し出により名簿記載事項の削除を求めることができます。ご不明な点は事務局までお問い合わせください。

事務局より会員の皆さまへ

転居など、個人情報の変更手続きは、同窓会ウェブサイトの専用フォームをご活用ください。ウェブサイトをご覧になれない方は、桜美林学園同窓会事務局までご連絡ください。

お電話でのお問い合わせ／☎042-797-1632（平日9:00〜16:00）
ファックスでのお問い合わせ／☎042-797-3897
メールでのお問い合わせ／alumni@obirin.ac.jp
ウェブサイト／https://www.obirin.jp/alumni

同窓会Facebookのご案内

桜美林学園同窓会のFacebookでは、皆さまに同窓会や学園の最新情報、在校生・卒業生の活躍などをお伝えしております。詳細はFacebookのウェブサイトから「**桜美林学園同窓会**」で検索いただくか、右記QRコードよりアクセスをお願いいたします。
皆さまのフォロー、お待ちしております！
@Obirin.alumni.official

特別会費納入のお願い

同窓会では会費納入規程第4条に基づき、学園をご卒業後10年、20年、30年の同窓生に各5,000円もしくは初回時（卒業後10年）に永年会費として10,000円の納入をお願いしております。皆さまからお預かりした特別会費は『同窓会だより』の発行や同窓会の諸活動、また学園支援に幅広く活用させていただいております。今後もさらなる同窓会発展のために努力してまいりますので何卒ご理解の上、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

〈特別会費納入対象卒業年度〉

●1992年度　●2002年度　●2012年度
※卒業年度は会員番号上2桁でご確認ください。
※会員番号は宛名ラベルのお名前の下に8桁の数字とアルファベットで記載しています。

〈送金方法〉

銀行振込／三菱UFJ銀行 町田支店 普通 口座番号：4591073
口座名義：特別会費 桜美林学園同窓会 代表者 山本美浩
※振込依頼者の後に会員番号を追記してください。
携帯からのご送金など追記できない場合は不要です。

特別会費をご納付いただいた皆さま 敬称略

伊藤加代子／67高校卒……10,000円

感謝の誌代 敬称略

新森百合子／68短家卒……10,000円
猿渡滋子／69短英卒……10,000円
鈴木雅實／53高校卒……3,000円

編集後記

卯年といえば、飛躍の年または新たなチャレンジの年。
昨年は崇貞学園創設から学園創立100周年を迎え、「100年桜まつり」式典も開催され、ようやくキャンパスで人との交流が実現しました。新たな年度は、キャンパスでのイベントや支部会が、皆が集まって笑顔で楽しく開催できる環境に移ることを切に願っております。同窓会も次の100年に向けて、すべての同窓生の協力のもと、これからも進化していくために一体となって活動してまいります。
いつもご清覧ありがとうございます。　広報副委員長　木下浩司

桜美林学園 同窓会だより 207号　発行日：2023年3月25日　発行：桜美林学園同窓会　〒194-0294　東京都町田市常盤町3758　☎042-797-1632

※QRコードは（株）デンソーウェーブの登録商標です。